



JAPAN SOCIETY OF BREAST HEALTH Annual Report

乳房健康研究会 アニュアルレポート 2018
ピンクリボンアドバイザー
アニュアルミーティング開催

CONTENTS

はじめに

2017活動:ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング開催

1. コミュニケーション強化と的確な情報提供
2. 関連NPO団体や企業との連携“ピンクリボンネットワーク”

乳房健康研究会のあゆみ2000～2016年

乳房健康研究会を支援するプログラム



はじめに

いま日本女性の11人に一人が乳がんにかかるといわれ、亡くなる方は増え続けています。乳がんは予防することはできませんが、早期発見であれば90%以上が治癒します。早期発見は知識さえあれば可能です。自己検診を行い、精度の高いマンモグラフィ検診などの画像診断が受けられると、より早期発見率は高まります。

2000年春、私たちは乳がん早期発見による死亡数低下を願い、乳房健康研究会を組織しました。セミナー、出版、ピンクリボンバッジ運動、ウオーク&ラン大会など社会性の高い事業活動を行っており、2003年2月、日本の乳がん啓発団体で初めて特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、2011年4月には認定NPO法人の認証を受けるに至りました。

乳がんによさしい社会に向けて

2013年に創設したピンクリボンアドバイザー制度も5年目となり、【初級】【中級】【上級】のすべてがそろった2017年はピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティングを開催いたしました。全国からピンクリボンアドバイザーが集い、活動情報の共有や交流の素晴らしい機会となりました。

内外のピンクリボン団体や企業とのタイアップも広がり、ピンクリボンウオークハイ研修会、企業見学、ピンクリボンプラザなどの活動が活発になっております。恒例のピンクリボンウオーク、HPでは検診機関情報のアップデート、東京都や墨田区といった自治体との協働企画も拡大しました。

2018年はピンクリボンアドバイザーのネットワーク及び他の団体・企業との連携を深め、国の施策にも関与するなど、次の高い目標に向かって歩みはじめます。

認定特定非営利活動法人 乳房健康研究会

2017活動トピックス

ピンクリボンアドバイザー アニュアルミーティング開催

ピンクリボンアドバイザー同士の交流と活動の活性化を図ることを目的に、1年に1回行うアニュアルミーティングを、2017年に初開催した。乳がんや検診、治療に関する最新情報、各地のピンクリボンアドバイザーのさまざまな活動事例が学べる内容となっている。

また、2017年は、米国ハワイ州ホノルルで開催されるKomen Hawaii Race for the Cure®に参加することを目的とした、3泊5日間のハワイ・オアフ島ツアーを開催した。



1. ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング開催



2. ピンクリボンウオークハワイ研修会



3. ピンクリボンワークショップキャラバン開催



4. ピンクリボンアドバイザー認定試験結果

5. ピンクリボンプラザ in 大阪



1. ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング開催

ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング2017

ピンクリボンアドバイザー同士の交流と活動の活性化を図ることを目的に、1年に1回、アニュアルミーティングを開催する。乳がんや検診、治療に関する最新情報、各地のピンクリボンアドバイザーのさまざまな活動事例が学べる内容。初回となる2017年は、5月に2日間にわたって実施した。

アニュアルミーティングの受講や活動発表により、ピンクリボンアドバイザー【初級】【中級】更新審査/【上級】認定に必要な単位が取得できる。

ピンクリボンアドバイザー【上級】は、認定期間内(3年間)に1回以上、活動発表をすることが、【上級】更新の要件となる。

- 日 時 2017年5月20日(土)・21日(日)
- 会 場 がん研究会有明病院(吉田記念講堂・会議室・セミナールーム)
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
- 主 催 認定NPO法人乳房健康研究会
- 協 賛 ゲンゼ(株)、(株)アートネイチャー
- 対 象 ピンクリボンアドバイザー(初級、中級、上級)、一般の方
- 参 加 費 5月20日(土)【教育セミナー】2,160円、【懇親会】5,000円
5月21日(日)【活動発表】3,240円(軽食付)
- 参加人数 【教育セミナー】123名、【活動発表】75名、【懇親会】31名



【教育セミナー】

乳がんや検診、治療に関する最新情報が学べるセミナー。受講後に簡単な確認テストがあり、単位を取得できる。

<座長: 福田 護 / 認定NPO法人乳房健康研究会理事長>

- ①大切な乳がん検診『自己触診(自己検診)の考え方』(福田 護 / 聖マリアンナ医科大学プレスト&イメージングセンター院長)
- ②大切な乳がん検診『高濃度乳房について』(小林茂樹 / 乳房健康研究会理事) *
- ③乳がん治療『治療に向き合うために』(片岡明美 / がん研有明病院乳腺センター医長) *
- ④乳がん治療『手術法の選択』(土井卓子 / 湘南記念病院かまくら乳がんセンター長 / 乳房健康研究会理事)
- ⑤乳がんと生きる『マギーズ東京』(秋山正子 / マギーズ東京代表理事)

* 印の講演は、内容を編集し、2017年秋より「ピンクリボンと乳がんWebセミナー」のコンテンツに追加。



【活動発表】

ピンクリボンアドバイザーの活動を全国の仲間とシェアするため、一人7分の発表を行い、それぞれ意見交換を行った。口演21件、ポスター5件の発表の中から、上級対象の「アバンストピンクリボン賞」、初級・中級対象の「ピンクリボン賞」に最もふさわしいと思うものを参加者全員が投票。座長による審査と、参加者による投票で賞を決定し、ピンクリボンアドバイザーアワードとして活動助成金を進呈した。

〈座長〉

島田 菜穂子 / 認定NPO法人乳房健康研究会 副理事長
阿部 恭子 / 認定NPO法人乳房健康研究会 理事
鈴木 久美 / 認定NPO法人乳房健康研究会 理事

●テーマ: ①個人勲奨、②患者サポート、③啓発ツール作成、④イベント企画

●発表形式: (A)口演、または(B)ポスター。

●賞について(1人1受賞)

①ピンクリボンアドバイザー【上級】の発表から、「アバンストピンクリボン賞」として金賞(10万円)、銀賞(5万円)、銅賞(3万円)〈活動助成金〉と賞状を進呈

②ピンクリボンアドバイザー【初級】【中級】の発表から、「ピンクリボン賞」として金賞(5万円)、銀賞(3万円)、銅賞(1万円)〈活動助成金〉と賞状を進呈

●評価のポイント

- ①内容の充実度: 十分に準備し充実した活動か、活動を適切に評価しているか
- ②発表のわかりやすさ: 時間内でわかりやすく発表しているか
- ③企画のオリジナリティ: 独創性のある活動か、発想豊かな企画か



㊤「アバンストピンクリボン賞」金賞: 栗橋登志さん

㊦「ピンクリボン賞」金賞: 小林順子さん



(A) 口演発表



(B) ポスター発表



【展示、他】

1日目の教育セミナーの前には、患者さんの生活に関わる商品を提供する企業による【プレセミナー】も開催。製品を実際に見て触って体験できるコーナーや、各種展示コーナーも設けられた。



2. ピンクリボンウオークハワイ研修会 Race for the Cure® Hawaii 2017 参加ツアー

米国ハワイ州ホノルルで開催されるKomen Hawaii Race for the Cure®に参加することを目的とした、3泊5日間のハワイ・オアフ島ツアーを初開催した。

乳がん啓発活動やそのための募金活動を積極的に行なっている米国NPO団体のSusan G. Komen Hawaii®が主催するこのイベントは、23年目を迎える。サバイバーの方々だけでなくその家族や支援者、そしてイベントをサポートするボランティアたちが、ハワイはもとより全米各地から集まり、共に楽しい時間を過ごすウオークイベント。

31名が今回のプログラムに参加し、同じ目的に向かう多くの方々と交流し、密度の濃い時間を過ごした。



●主催 : 認定NPO法人乳房健康研究会

●目的 :

1. ウォーク&ランに参加しながらハワイを楽しむ
2. 米国における乳がん啓発活動の実際を体験、学習する
3. 米国における乳がん啓発活動ボランティアとの交流をはかる
4. コーメン財団との交流をする
5. 日米の‘ピンクリボンウオーク’ 交換研修の場とする
6. ピンクリボンアドバイザーの研修及び単位取得の機会とする



●日時 : 2017年10月14日(土)成田発~2017年10月18日(水)成田着

●場所 : ハワイ、ホノルル・カピオラニ公園
宿泊ホテル: ハイアット・ブレイス・ワイキキビーチ

●主なプログラム:

- ・ウォーク&ラン(コーメン フォー ザ キュア)に参加
- ・ハワイのボランティアとの交流
- ・ハワイ大学見学(オプション)

●参加対象:

- ・ウォークあるいはランに参加できる方
- ・3泊5日の研修旅行ができる健康状態の方
- ・ピンクリボンアドバイザーの認定を受けている人、またはピンクリボン運動に理解ある人

●参加費 : 228,000円

●参加者数 : 31名 (ツアー参加者19名+プログラム参加者12名)

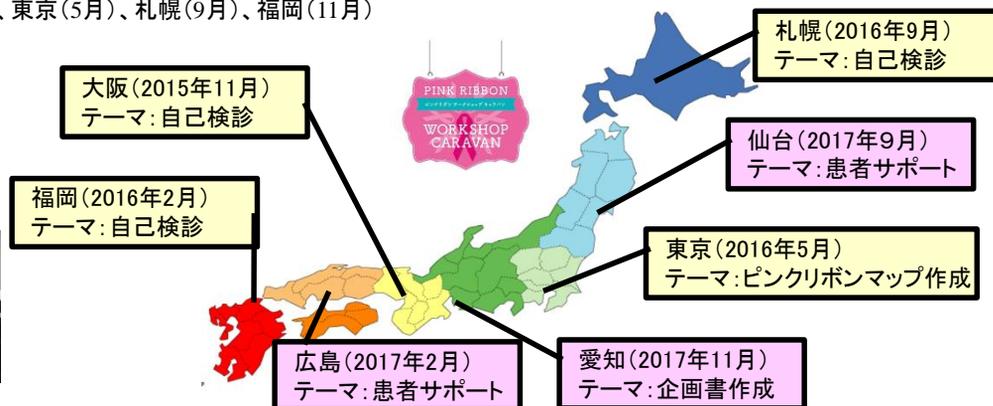


3. ピンクリボンワークショップキャラバン開催

ピンクリボンワークショップキャラバン

15周年記念事業として、2015年にスタートしたピンクリボンワークショップキャラバン。各地のピンクリボンアドバイザーが活動に必要な情報やスキルを身につけることを目的とする。セミナーの部とワークショップの部の二部構成で、中級試験開催地で順次実施。自己検診、ピンクリボンマップ作成、企画書作成、患者サポートなどのメニューから、各地域の要望を考慮して内容を決定する。2017年は：広島(2月)、仙台(9月)、名古屋(11月)で開催した。

* 2018年予定：大阪(2月)、東京(5月)、札幌(9月)、福岡(11月)



第2回ワコール新京都ビル見学&ピンクリボン京都スタンプラリー

女性の胸を見守り続けてきた企業ワコールと、街全体での啓発活動を推進するピンクリボン京都の協力のもと、京都で実施する企業見学研修会第2回を開催。1日目は地元企業と啓発団体の連携、地域の特性を生かした活動を学び、2日目はピンクリボン京都主催のスタンプラリー&ウォークコースに参加。

ピンクリボンアドバイザー中心に30名が参加した。

- 日程：2017年10月6日(金)～7日(土) <2日間>
- 共催：株式会社ワコール、ピンクリボン京都



第4回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会

2014年に始まり、4回目を迎える研修会。1日目の前半は栃木県大田原市の医療機器メーカー・東芝メディカルシステムズにて、乳がんに関する講義、マンモグラフィをはじめとした医療機器の工場を見学した。

1日目の後半～2日目のワークショップでは、「あなたにとって魅力的なピンクリボンウォークとは?」「ピンクリボンウォークで発揮できるあなたの強みは?」という問いに基づきアイデアを出し合いながら、グループごとに企画案を出し合い、活動の実践方法を学んだ。

参加者は、ピンクリボンアドバイザーや今年度に認定試験を受けようとする方などが全国から19名集まり、講師・スタッフ5名の合計24名での研修会となった。

- 日程：2017年6月9日(金)～10日(土) <1泊2日>
- 協力：(株)東芝、東芝メディカルシステムズ(株)



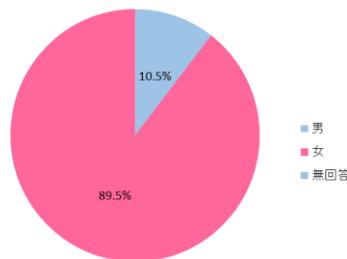
4. ピンクリボンアドバイザー認定試験結果

第6回認定試験により、ピンクリボンアドバイザーは約8,500名超

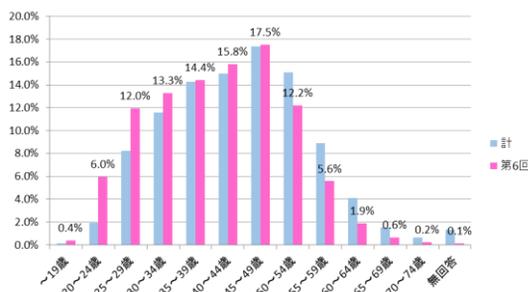
2017年12月に第6回試験を実施。【初級】は、申し込み1,884名、合格者1,740名、【中級】は申し込み495名、合格者393名。2017年は上記のほかにサテライト試験【初級】を企業2社で行う。2018年1月現在のピンクリボンアドバイザーは8,615名となった。

【第6回 初級合格者データ】

■男女比：女性が9割を占める

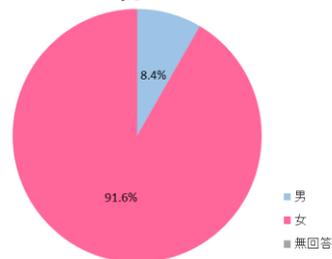


■年齢：平均年齢40.4歳



【第6回 中級合格者データ】

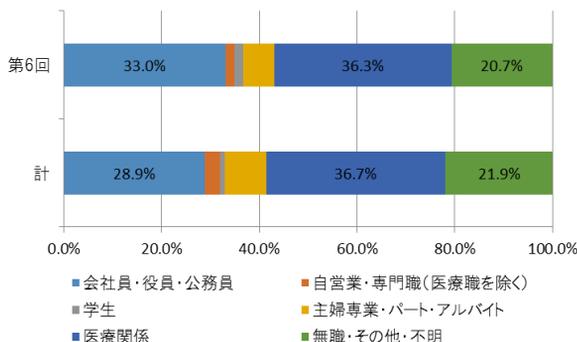
■男女比



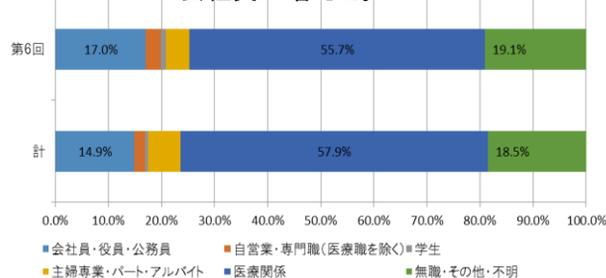
■年齢：平均年齢43.4歳



■職業：医療関係者が多い。



■職業：前回に比べ医療関係の割合が減り、会社員が増えた。



第2回ピンクリボンアドバイザー上級認定研修会

2016年に続き、2回目となる上級認定研修会を実施。今回の研修会では、昨年認定されたピンクリボンアドバイザー【上級】8名に、グループワークのファシリテーター、運営アシスタントとして参加してもらったとともに、アニュアルミーティングの「アバンストピンクリボン賞」金賞受賞者に講師を務めてもらった。ランチタイムには、受講者の自己紹介スライド(1人20秒程度)を上映し、好評だった。今回新たに35名が認定され、【上級】は合計82名となった。



- 開催日時：2017年9月9日(土)、9月10日(日) * 次回は2019年開催予定
- 開催場所：がん研究会有明病院
- 受講人数：35名

5. ピンクリボンプラザ in 大阪 ～今こそ伝えたい！乳がん検診の大切さ。～

乳がんには予防法がない。だからこそ、早期発見・早期治療を可能にする定期的な検診受診が何よりも大切とされている。そこで、9月のピンクリボン月間に大阪で、乳がん検診の大切さを伝えるためのイベントを開催した。

玉木康博氏(大阪国際がんセンター副院長、乳腺・内分泌外科)によるセミナーでは、乳がんに関する医師の思いと患者の感覚のズレを、最新の情報をもとに解説した。

続いて、本日のゲスト、三代澤康司氏(朝日放送エグゼクティブアナウンサー)が講演。三代澤氏は、かつての番組パートナーが乳がん罹患したことからピンクリボン活動を始め、ピンクリボンアドバイザー認定試験に合格。その後もリレー・フォー・ライフ等様々な活動に参加。自身の体験をもとに、乳がんの早期発見の大切さを訴えた。

パネルディスカッションでは、玉木氏、三代澤氏に加え、丸山尚美氏(あおき・まるやまクリニック副院長、乳腺外科)、富尾貴美代氏(NPO法人ピンクリボン大阪理事長)も交えて、「乳がん検診受診率が低い日本において、特に低い関西の受診率向上をどうしたらよいか」を話し合った。大阪のことを大阪で活躍するパネリストが意見を交わすことで、活気あるディスカッションとなった。



- 名称 : ピンクリボンプラザ in 大阪
～今こそ伝えたい！乳がん検診の大切さ。～
- 開催日時 : 2017年9月24日(日)、13:30～16:30(13:00開場)
- 会場 : ホテルモントレグラスミア大阪「スノーベリー」「ラベンダー」
〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町1-2-3
- 共催 : 認定NPO法人乳房健康研究会、NPO法人ピンクリボン大阪
- 特別協賛 : 花王グループ
- 後援 : 大阪府、大阪市、認定NPO法人 J.POSH
- 内容 : ポジティブに乳がん啓発を促す内容
乳がんに関するセミナー、ゲストによる講演、美容コーナー、
カイロプラクティック、しこりタッチ体験、
花王グループ・ピンクリボン団体による展示 等
- 企画・制作 : 株式会社朝日エール
- 定員 : 300名(40～60代女性中心)〈申込み定員制〉



自己管理の重要性をテーマに乳がん情報を発信

日本で初めてプレストケアウオーク&ランを開催した乳房健康研究会。医療従事者と一般女性のコミュニケーション強化を図ることにより、正しい情報を伝達することを目的として、多岐にわたるイベントを開催・協力している。ホームページでは、乳がんの的確な情報を提供。さまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。各種啓発ツールも多方面で活用されている。

第16回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウオーク2017

■日時：2017年3月26日（日） 9:00～14:00

■場所：日比谷公園

乳がんについて考えるきっかけになってほしい…。そんな思いからスタートした「ピンクリボンウオーク」。今年も、運営に関わる様々な場面でピンクリボンアドバイザーが多数参加した。

開会式には、多忙な中、小池百合子東京都知事がピンクの装いで来場し、参加者にエールをおくった。

芝生ヨガのインストラクターによるヨガのレクチャー、乳がん検診を受ける方を応援するオールスタープロチアリーダーズによるパフォーマンスとピンクリボン体操のPRに続いて、準備体操を実施。その後、参加者の皆さんは雨天に負けない元気な笑顔でスタートした。

コースは、銀座や変身した有楽町をめぐる2km、皇居をぐるりと回る5km、皇居外苑から千代田区をめぐるロングな10kmの3つウオークコースと5kmファンランコース。思い思いのピンクのアイテムを身に着けて、幅広い年齢層の方々がウオークやランを楽しんでいた。



ウオーク後のメインイベントには、元競泳日本代表の萩原 智子さんを招き、島田 菜穂子大会実行委員長とのトークショーを実施。また、マンモグラフィ検診デモンストレーションで検診の大切さを伝えた。

今回は、小石川中等教育学校写真部の生徒さんの協力により、参加者のウオーク・ランの様態をステージのLCDビジョンで放映、また、後日、ネットで好きな写真を選び購入できるサービスを展開した。また、ゴールでは、ピンクリボン運動に賛同している東京都市大学の2バンドが軽快な演奏で皆さんを迎えるなど、様々な工夫を凝らして大会を盛り上げた。



信頼される乳がん情報、充実した啓発ツール

乳がんの的確情報の提供とともに、今年取り組んださまざまな活動を紹介しているホームページ。設備のとのった検査施設などの情報を更新した。



【さまざまな啓発ツール】

乳がんの啓発ツールやチャリティグッズ(書籍、パンフレット、シャワーカード、DVD、切手、ピンクリボンバッジなど)を作成しホームページで販売しており、各方面で活用されている。最近、さまざまな企業がオリジナルのピンクリボン啓発ツール制作をおこなっている。

雑誌、新聞、テレビ、インターネットなどのさまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。

■啓発リーフレット



■書籍



■シャワーカード



学会・研究会へ出展し、ツールを紹介

専門家に乳がん早期発見の大切さを伝えることにより、それぞれの専門家に乳がん啓発活動の一端を担ってもらうため、学会・研究会や各地の市民公開講座等へ出展。講師の派遣、乳がん啓発ブースの設置、啓発ツール紹介、チャリティグッズの販売をおこなう。

出展	会期	会場
日本乳癌学会	7月13日～15日	マリメッセ福岡・福岡国際会議場
日本乳癌検診学会	11月10日～11日	あわぎんホール・ホテルクレメント徳島



ピンクリボンの裾野を広げる

正しい乳がん情報を広く普及するために乳がん啓発活動に関わるNPOや各種団体、企業との連携事業を展開。

各地のピンクリボン活動をサポート

全国各地のピンクリボンイベントに協力し、イベント共催、講師の派遣、ブース出展、啓発パネル貸し出しなどを精力的に行う。

時期	イベント
5月	美フェス KANNSA I2017 わたしの「今」いいことみつける (大阪)
	第40回大和市民まつり ピンクリボンアドバイザーによる乳がん啓発
	はんでん木まつり 乳がんセルフチェックコーナー (千葉県東金市)
	大丸松坂屋 母の日キャンペーン
6月	米子ピンクリボンフェスタ2017
9月	墨田区がんパネル展
10月	ピンクリボンin東京
	ピンクリボンフェスティバル ～ピンクリボンスマイルウォーク・シンポジウム (東京、神戸、仙台)
	やまがたピンクリボンフェスタ2017
	輝くいのちの贈りもの～家族の笑顔を結ぶピンクリボン～ (四日市)
	ピンクリボン京都スタンプラリー&ウォーク
	ピンクリボン愛フェス (愛知県一宮市)
	アビアランスケアワークショップ (神戸)
	2017ピンクリボンキャンペーン (京都)
	乳がん自己触診法をまなぶ(中野区他)
	がん検診週間「がん検診運動+放射線展+ピンクリボン運動」(茨城県つくば市)
	CHIBA JETS FUNABASHI LADY's DAY
	Mama style festa ! Halloween (東京都多摩市)
	ピンクリボン in 郡山



ピンクリボン京都のスタンプラリーはクイズに答えて、ご朱印をいただく社寺めぐりです。

企業とのタイアップ

協賛や直接的な寄付に加えて、広報・販売促進活動の中で社会貢献活動を行う「コーズ・リレイティッド・マーケティング」による支援も増加している。乳房健康研究会は主としてコンテンツを提供。企業の告知力・コミュニケーション力により、正しい乳がん情報が広く普及していく。

企業	内容
アスクル	オリジナル紙コップの売り上げの一部を寄付
川辺	ママバッグの売り上げの一部を寄付
花王グループ	店頭での啓発活動
カネボウ化粧品	カネボウスキンケア商品の売り上げの一部を寄付
きむら食品	梓つきもちの売り上げの一部を寄付
クロスカンパニー	ギフトショップMaison de FLEURの対象商品の売り上げの一部を寄付
佐藤食品工業	鏡餅、切り餅の売り上げの一部を寄付
シグマスタッフ	派遣社員へ乳がん啓発。登録人数に応じて寄付
ジャパンビバレッジ	自動販売機の売り上げの一部を寄付
スリーエムヘルスケア	聴診器等の売上の一部を寄付
3M	アマゾンでの日用品の売り上げの一部を寄付
ソラレ ホテルズ アンド リゾート	グループホテルの宿泊費の一部を寄附
東京コカ・コーラボトリング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
日本ホールマーク	母の日カードの売り上げの一部を寄付
鳴海製陶	フェリシタシリーズの売り上げの一部を寄付
ナショナルペンディング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
ヌーヴ・エイ	店頭での募金による寄付
三越伊勢丹	ピンクリボンバザール運動による寄付
ミュゼプラチナム	薬用スモースキンコントロール ミルクローション モイストプラスの売り上げの一部を寄付
ユナイテッドアローズ	対象商品やオリジナルピンクリボングッズの売り上げ一部、リサイクルキャンペーンによる売却費を寄付
ワコール	フィッティングキャンペーン、ピンクリボン検定による寄付



ほか多数

乳房健康研究会のあゆみ

2000年

- 5月 乳房健康研究会発足
- 9月 第1回セミナー「もっと乳がんを知ろう」開催(東京・プラザエフ)

■乳房健康研究会設立メンバー

2000年春、日本女性の乳がんによる死亡数低下を願い、4人の医師が集まり発足した。



野末悦子
コスモス女性クリニック
院長



轟 富士雄
順天堂大学医学部
附属順天堂医院
乳腺センター長



福田 護
聖マリアナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長



島田稜穂子
ピンクリボンプレスト
ケアクリニック表参道
院長

2001年

- 3月 『20歳を過ぎたらプレストケア』出版 プレスセミナー開催(東京)
- 7月 乳癌最新情報カンファランス会場にてピンクリボンバッジ運動スタート
- 9月 第2回セミナー「乳がん早期発見のための取り組み～女性医療と乳がん～」開催(東京・プラザエフ)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンバッジ運動

アメリカで乳がん啓発のシンボルマークとして広く知られているピンクリボン。このバッジを多くの方々につけていただくことで、乳がんの早期発見をよびかけている。



■出版、啓発ツール制作

『20歳を過ぎたらプレストケア』を出版以降、マンモグラフィの特徴や撮影方法などをわかりやすくまとめた「マンモグラフィQ&A」、乳がんの基礎知識をまとめた「乳がんQ&A」などの啓発ツールを制作し、さまざまなルートで活用していただいている。



2002年

- 3月 第1回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア開催(東京・国営昭和記念公園)
- 9月 第1回ウオーク フォー プレストケア開催(東京・お台場)
- 9月 「マンモグラフィQ&A」制作
- 12月 東京ミレナリオ沿道にて「ピンクリボンプラザ」開設
- 10月～翌年1月 乳がん検診のバリア調査(一般女性)
- 11月 乳がん検診のバリア調査(全国自治体)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ウオーク&ランの開催

一般女性、乳がん経験者、男性も子どもも参加できるウオークやラン。アメリカで広くおこなわれているこのような乳がんイベントを日本で初めて開催した。サブイベントとしてマンモグラフィ検診や乳房健康相談、プレストケアトークなどをおこない、楽しい中にも乳がんの正しい知識を持っていただけるような内容で、医療従事者と一般女性のコミュニケーションを深めている。



2003年

- 2月 内閣府より特定非営利活動法人(NPO法人)認証
- 3月 第2回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・国営昭和記念公園)
- 4月 第3回セミナー「なぜ検診に行かないの？乳がん検診のバリアをなくそう」開催(東京・ヤマハホール)
- 5月 ウォークフォー プレストケア 2003 大阪 開催(大阪・大阪城公園)
- 8月 「乳がんQ&A」制作
- 9月 ピンクリボンウォーク2003開催(東京・代々木公園)
- 10月 朝日新聞社主催「ピンクリボンフェスティバル」(東京・六本木ヒルズ)への支援
- 11月 第13回日本乳癌検診学会(群馬)にて乳がんのバリア調査報告ならびにピンクリボン運動出展
- 11月 米国の乳がん啓発団体「スーザン・G・コーメン・プレストキャンサー・ファンデーション」とタイアップしてプレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診のバリア調査

乳がんの基礎的な資料整備のため、企業、行政、団体のご協力をいただきながら、乳がんに関する調査の設計、実施、データ公表をおこなっている。2002～3年には、乳がん検診受診率がなぜ低いのかを探る「乳がん検診のバリア調査」を実施。全国3,247自治体と一般女性(東京、愛媛)への調査をおこない、自治体の乳がん検診の考え方や実態や女性たちの検診意識を明確化した。この調査はたびたびメディアでも取り上げられている。



2004年

- 2月 『すべての女性にプレストケア』出版
- 3月 第3回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 8月 三重県乳がんプロジェクトの一環の県民公開講座を支援
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 10月 関西国際空港10周年記念ピンクリボンウオーク関空2004 開催(大阪・関西国際空港)
- 10月 「チャートでチェック!乳がん検診 私はどこに行ったらいいの?」
「プレストケアと乳がん検診についてお話ししましょう」作成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■信頼できる乳がん検診情報の提供
活動開始から5年目、NPO法人化2年目の2004年はさらに戦略的な活動を本格化。「信頼できる乳がん検診情報の提供」をテーマに、乳がん検診受診率アップのためのさまざまな活動を展開した。制作物では「すべての女性にプレストケア」を出版ほか、検診施設の選び方のチェックチャートを作成しホームページでも紹介。



ピンクリボンウオーク関空で日本初!ピンクリボン人文字



乳がん検診が初めての人へのナビゲーションとなる1冊

2005年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(三重、久留米)
- 3月 第4回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 6~7月「乳がん検診は今」調査実施(一般女性、都道府県、自治体、健保組合対象)
- 8月、9月 三重県乳がんプロジェクトの一環の市民公開講座(四日市)を共催
- 9月 プレスセミナーを開催、「乳がん検診は今」調査結果発表(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 11月 市民公開講座(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 12月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「乳がん検診は今」調査
2002~3年の「乳がん検診のバリア調査」の時点から、わが国の乳がん検診をとりまく状況は大きく様変わりした。今日の状況と課題を把握する目的で「乳がん検診は今」プロジェクトを立ち上げ、日本の乳がん検診を網羅する4つの調査を実施した。



2006年

- 3月 第5回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・潮風公園)
- 4月 ITEM(医学放射線学会・放射線技術学会)市民公開講座(横浜)支援
- 5・6月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(北海道、宮城、東京、愛知、大阪、福岡)
- 9月・11月・翌年1月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(東京)
- 10月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「ランチセミナー」(センチュリーハイアット東京)
- 10月 順天堂乳腺センター市民公開講座 支援
- 11月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「文化放送ミスDJリクエストパレード」
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診をもっと身近なものに
2005年調査を受けて、乳がん検診をもっと身近に感じてもらうための活動に新たに取り組んだ。



ノバルティス乳がん検診キャラバン



ピンクリボンハッピーチャレンジ



乳がん検診受診率向上実践セミナー

2007年

- 2月 日本乳癌画像研究会(東京)に出展
- 3月 順天堂乳腺センター市民公開講座(東京) 支援
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(熊本、愛媛、岡山、北海道、山形、茨城、東京)
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 11月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(大阪)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診受診率50%に向けて<一般女性意識行動調査>
2007年は、同年6月にがん対策基本計画に「乳がん検診受診率50%」との目標が盛り込まれたことを受け、NPO法人として実現に向けての活動の方向を探るための3度目の調査を実施した。



2008年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 3月 第7回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(長崎、広島、高知、山梨、岩手、北海道、千葉)
- 5月 hideメモリアルサミット
- 9~11月 Over the ピンクリボン企画
- 10月 ピンクリボンプラザ@表参道ヒルズ、ピンクリボンプラザ@四日市
- 10月 「Breast Cancer Global Congress」に参加
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンプラザ」開催

検診受診率アップの為に、女性の日常生活に密着した場所での啓発が大切と考え、東京・表参道ヒルズ、三重・四日市北イオンショッピングセンターで「ピンクリボンプラザ」を開催。乳がんに関する正しい知識や、一人一人に合った情報を紹介し、乳がん検診・診療への行動を促した。また、乳がん検診や診療について気軽に相談でき、生涯にわたり健康のサポート役となる乳房の主治医「ピンクリボンドクター」を見つけるヒントを提供した。



2009年

- 3月 第8回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~10月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(福岡、山口、奈良、三重、神奈川、香川、大阪、青森、秋田)
- 10月 ピンクリボンプラザ@新宿を開催
- 10月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(東京)で調査結果発表
- 11月 プレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンプラザ@新宿」開催

検診に行きたいと思っている女性の疑問や不安を解消し、すぐに具体的に役立つ情報の提供を行うことを目的に、乳がん検診について知りたい内容をコンパクトに整理して提供した。

セミナーでは、乳がん検診の基礎についての講演と自己検診の方法とマンモグラフィの撮影方法のデモンストレーションに続き、中井美穂さんをゲストを迎えてパネルディスカッションを行った。

セミナーの模様は、新宿駅前の「アルタビジョン」でも放映された。



2010年

- 3月 第9回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 5月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(大手町、新宿)
- 5月 マンモグラフィ講習会を開催(福岡)
- 5月 日本超音波検査学会(大阪)に出展
- 6月 日本乳癌学会(札幌)に出展
- 9月 PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010 開催
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(熊本)
- 11月 日本乳癌検診学会(福岡)に出展
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010

設立10周年を記念して、東京で日本初のピンクリボンカンファレンス開催した。米国、韓国をはじめ国内外から最先端の講師を招き、全国から集まった32のピンクリボン団体、延べ500人近い参加者とともに活発な議論が交わされた。



2011年

- 4月 すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン (東京・墨田区)スタート
- 5月 認定NPO法人の認可を受ける
- 9月 日本乳癌学会(仙台)出展
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 10月 ピンクリボンウオーク in すみだ(東京・錦糸公園)
- 10月 日本乳癌検診学会(岡山)出展
- 11月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸(宮城)開催
- 11月 鹿児島撮影技師更新講習会、鹿児島読影更新講習会を開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン

ピンクリボン運動を継続・高めるための新しいスタートとなる2011年は、乳がん検診の受診率を上げるという課題に向かって、行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する体制づくりに取り組む。



2012年

- 1月～ すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン（東京・墨田区、前年より継続）
- 3月 第11回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（熊本）出展
- 9月 ピンクリボン運動自治体担当者会議
- 9月 ピンクリボンウオーク in すみだ（東京・錦糸公園）
- 11月 日本乳癌検診学会（沖縄）出展、すみだの事例を発表
- 11月 ピンクリボンカフェ in 郡山
- 6～7月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸 乳がん検診助成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン
行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する取り組み[ピンクリボン エリアキャンペーン]を2012年も継続展開。乳がん検診受診率向上の成功モデルを完成させるとともに、墨田区のメニューと成功事例を全国に広める活動にも取り組んだ。



2013年

- 3月 第12回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 日本乳癌学会（浜松）
- 8月 日本看護管理学会（東京）
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会（横浜）
- 9月 プレスセミナーを開催
- 11月 ピンクリボンブラザ in 岩手 ～東北の女性の元氣とキレイを応援～
- 11月 日本乳癌検診学会（東京）
- 11月 医療の質安全学会（東京）
- 12月 第1回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンアドバイザー制度スタート
検診を広げ、乳がんにやさしい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、2013年、「ピンクリボンアドバイザー制度」を創設。人と人のつながりを大切にしながら乳がん検診を推進する「友だちアクション」により乳がん検診啓発の輪を広げていく活動をスタートさせた。



2014年

- 3月 第13回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 7月 第2回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 7月 日本乳癌学会（大阪）
- 8月 マンモグラフィ工場見学 那須・鬼怒川研修会
- 9月 日本看護学会—看護教育—学術集会（新潟）
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会（長良川国際会議場、他）
- 10月 日本看護学会 在宅看護（山形テレサ）
- 10月 日本看護学会 精神看護（キッセイ文化ホール）
- 10月 日本看護学会 急性期（パシフィック横浜）
- 11月 日本乳癌検診学会（ベトナム文化ホール）
- 12月 第3回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボン友だちアクション

2013年12月の第1回認定試験を受けて、2014年2月に初のピンクリボンアドバイザー2,069名が誕生し、各地で活動をスタート。また、楽しく歌って踊りながら「自己検診」を啓発する、新しい参加型のツール『ピンクリボン体操 第1』を開発。人と人のつながりを大切にしながら乳がん検診を推進する「友だちアクション」により、乳がん検診啓発の輪が広がっている。



2015年

- 2月 ピンクリボンアドバイザー専用サイトをリニューアル
- 4月 第14回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催（東京・日比谷公園）
- 6月 第2回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 6月 一般女性意識行動調査
- 7月 日本乳癌学会（東京国際フォーラム）
- 9月 PINK RIBBON CONFERENCE 2015
- 10月 ピンクリボンセミナー in Mie
- 10月 日本乳癌検診学会（つくば国際会議場）
- 11月 第1回ワークショップキャラバン（大阪／自己検診）
- 12月 第4回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん罹患者10万人時代に向けて
毎年、新たに10万人に乳がんが見つかる時代を迎え、私たち一人ひとりは何をすべきか。乳房健康研究会設立15年目となる2015年は、「PINK RIBBON CONFERENCE 2015」を開催。多面的な視点から2020年に向けてやるべきことを考えた。ピンクリボンアドバイザーは、地域のピンクリボン活動のリーダーとして精力的に活躍している。



2016年

- 2月 ワークショップキャラバン(福岡/自己検診)
- 3月 第15回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4月 ピンクリボンと乳がんWebセミナー開講
- 5月 ワークショップキャラバン(東京/ピンクリボンマップ作成)
- 6月 第3回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 6月 日本乳癌学会(東京)出展
- 9月 ピンクリボンアドバイザー【上級】認定研修会
- 9月 ワークショップキャラバン(札幌/自己検診)
- 9月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト2016 ピンクリボンプラザ in 仙台
- 10月 ワコール新ビル見学&ピンクリボン京都スタンプラリー
- 11月 日本乳癌検診学会(久留米)に出展
- 12月 第5回ピンクリボンアドバイザー認定試験

■ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生
乳がん検診や乳がんを取り巻く環境改善のために、教育、指導、社会活動を主導するピンクリボンアドバイザー【上級】の初の認定審査を実施し、47名が認定された。

2016年はピンクリボンアドバイザーの学びの場となるWebセミナーを開講するほか、各地でワークショップキャラバンを開催。



認定NPO法人乳房健康研究会 理事一覧

■ 理事長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長

■ 副理事長



野末 悦子
久地診療所医師



島田 菜穂子
ピンクリボンプレストケ
アクリック表参道
院長

■ 理事



阿部 恭子
元千葉大学大学院看
護学研究科付属
看護実践研究指導セ
ンター特任准教授



遠藤 登喜子
東名古屋病院
乳腺科診療医長



大多和 まや
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター



大野 真司
がん研究会有明病院
乳腺センター長

■ 理事



岡山 慶子
朝日エルグループ会長



栗橋 登志
しんゆりリボンズハウス
副会長



小泉 美都枝
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター 診療放射線
技師



小林 茂樹
藤田保健衛生大学
医療科学部 教授

■ 理事



嶋森 好子
岩手医科大学
看護学部長



鈴木 久美
大阪医科大学
看護学部教授



津川 浩一郎
聖マリアンナ医科大学
外科学
乳腺・内分泌外科教授



土井 卓子
湘南記念病院乳がん
センター
乳がんセンター長

■ 理事



中村 清吾
昭和大学医学部
乳腺外科部門
主任教授



西川 徹
昭和大学横浜市
北部病院 外科講師



島山 雅行
労働衛生コンサルタン
トオフィス島山



山内 英子
聖路加国際病院
乳腺外科部長・
プレストセンター長

■ 理事



高木 富美子
認定NPO法人
乳房健康研究会
事務局

■ 監事

中原 敬和

乳房健康研究会を支援するプログラム

乳がん検診を受ける、早期発見の大切さを伝える。ピンクリボン運動に企業・団体や個人が気軽に参加していただくために、受診率向上を目的としたさまざまな活動へのサポートプログラムを提案。主なプログラム5種類について、特徴や具体的な支援方法をまとめた。

ピンクリボン サポートプログラム

■ピンクリボンプレステケア募金

当会の年間を通じた活動全般を支援

○支援方法:寄付金や募金箱・チャリティーオークションなどでの募金を寄付。

■ピンクリボンバッジによる寄付 <ピンクリボンバッジ運動>

ピンクリボンバッジによる早期発見啓発活動とピンクリボン運動への寄付を一体化

○支援方法:500円以上の寄付につき、1つのピンクリボンバッジセットを贈呈。

■協賛

調査、イベントなど大規模な主催事業に対する協賛

○支援方法:協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局にお問い合わせください。事務局が企画内容と協賛メニューを提案。



■ピンクリボンパートナー

当会とともにピンクリボン運動による社会貢献を始めたい企業・団体が気軽に利用できる、1年更新のプログラム。

ピンクリボンパートナーとして登録いただくと、ピンクリボンマークやロゴマーク、啓発ツールなどをご提供。

【寄付額】年間20万円以上の寄付、または35万円以上のピンクリボンバッジによる寄付

○支援方法:協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、ピンクリボンパートナー申込書を提出ください。

■タイアップ

企業・団体がピンクリボン運動による社会貢献を実現するためのタイアップ企画。企画段階からのオリジナルプログラム開発や企業・団体の提案企画の実施など。

【タイアップ例】

①啓発キャンペーン 女性顧客啓発のためのオリジナルツールの作成、当会啓発ツールの活用

②商品販売キャンペーン ピンクリボン運動への協力を表示した商品の販売、売上金の一部を寄付

③応募キャンペーン 懸賞応募はがきなどの枚数に応じた寄付

④ポイント提供 顧客にポイントを加算、顧客がポイントを利用して当会に寄付

⑤イベント開催 チャリティイベント開催による寄付

⑥クリックキャンペーン HP上に乳がん啓発ページを作成し、クリック数に応じて寄付

○支援方法:協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局までお問い合わせください。

2017年 主な協賛・寄付・啓発ツール活用法人および団体(50音順)

T&Tのソファーマ株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
一般社団法人日本健康倶楽部
AIG富士生命保険株式会社
CWP(Come on Wrestling Party)
Himalayan Yogshala
KGA会
rêve
TAD三芳株式会社
アジレント・テクノロジー株式会社
アスクル株式会社
一般社団法人日本エステティック協会
一般社団法人日本家族計画協会
一般社団法人プレストケア倶楽部
一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会
エイツヘルスケア株式会社
花王株式会社
株式会社アートネイチャー
株式会社雨宮
株式会社アユーティアゴルフ
株式会社カネウ化粧品
株式会社きむら食品
株式会社コヤマドライビングスクール
株式会社埼玉冠婚葬祭センター
株式会社ジャパンコミュニケーションズインスティテュート
株式会社ストライプインターナショナル
株式会社セレスポ
株式会社仙台三越
株式会社ティ・ケー・エス
株式会社東京ヴァンテアン
株式会社ドリーム
株式会社日本ホールマーク
株式会社ヌーヴ・エイ
株式会社ハイサイド・コーポレーション
株式会社函館丸井今井
株式会社ビジネスサポートワークス
株式会社ミュージゼブラチナム
株式会社メディカル・コンシェルジュ
株式会社桃谷順天館
株式会社ユナイテッドアローズ
株式会社良品計画
株式会社ルック
株式会社ワコール
株式会社ワットマン
株式会社社会保険出版社
株式会社小学館
株式会社千趣会
川辺株式会社
キャンオンメディカルシステムズ株式会社
共栄火災海上保険株式会社
ゲンゼ株式会社

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
さいたま市
佐藤食品工業株式会社
サラヤ株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
ジェクス株式会社
スリーエムジャパン株式会社
ソラーレホテルズアンドリゾーツ株式会社
大鵬薬品工業株式会社
テルモ株式会社
東京新橋ライオンズクラブ
東京都
ナチュラル株式会社
鳴海製陶株式会社
プリモジャパン株式会社
ホンダ販売労働組合
まつもとクリニック
有限会社スタイルバイク
有限会社花花
リコー株式会社
リコー社会貢献クラブ・FreeWill
リゾートトラスト株式会社
医療法人健仁会 益子病院
医療法人上野会 上野会クリニック
一般社団法人日本エステティック協会
宇治武田病院
横須賀市
株式会社Lillian Luxe
株式会社アピスMCホールディングス
株式会社シグマスタッフ
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社ヌーヴ・エイ
株式会社ハーマン
株式会社レオパレス・リーシング
株式会社三越伊勢丹
株式会社新潟三越伊勢丹
株式会社静岡伊勢丹
株式会社大京
株式会社中北製作所
刈谷市
社会福祉法人江戸川豊生会 特別養護老人ホーム 第二みどりの郷
新潟県
中外製薬株式会社
中部ガス不動産株式会社
中野区
津田塾大学
日鉄住金ビジネスサービス八幡株式会社
日本郵船株式会社
富国生命保険相互会社
墨田区

他、多数